



2020.1.28

【文責 加藤】

## 3学期がはじまりました



新学期が始まり、二週間ほどたちました。子ども達は、個々に目標を持ちそれに向かって一歩を踏み出しているところです。始業式では、校長先生から2学期はみんなの頑張りがよく伝わり、学校が変わってきたと伝えていただきました。朝読書の時間、掃除、靴ピタ、挨拶、どれも、一人ひとりの努力と頑張りで学校が変わってきました。3学期は、やってきたことが、「頑張ってる」のではなく、「あたりまえ」にできるように高めていこうとお話いただきました。

6年生の中には「先生、私たち5年生の時より変わったやろ。」「いい卒業式にするねん。」と話してくれた児童がいます。5年生の中には、「下学年に憧れられる人をめざすねん。」と伝えてくれた児童がいます。嬉しい言葉に、心が温かくなり、全力で応援しようと思ったのでした。

さて、今回は、私が中学校の時に国語の教科書で読んだ随筆で、強く心に残っている作品を紹介します。

## 言葉の力

大岡 信

人はよく美しい言葉、正しい言葉について語る。しかし、私たちが用いる言葉のどれをとってみても、単独にそれだけで美しいと決まっている言葉、正しいと決まっている言葉はない。ある人があるとき発した言葉がどんなに美しくても、別の人がそれを用いたとき同じように美しいとは限らない。それは、言葉というものの本質が、口だけのもの、語彙だけのものではなくて、それを発している人間全体の世界をいやおうなしに背負ってしまうところにあるからである。人間全体が、ささやかな言葉の一つ一つに反映してしまうからである。

京都の嵯峨に住む染織家志村ふくみさんの仕事場で話していたおり、志村さんがなんと美しい桜色に染まった糸で織った着物を見せてくれた。そのピンクは淡いようでいて、しかも燃えるような強さを内に秘め、はなやかに、しかも深く落ち着いた色だった。その美しさは目と心を吸い込むように感じられた。

「この色は何から取り出したんですか」  
「桜からです」



と志村さんは答えた。素人の気安さで、私はすぐに桜の花びらを煮詰めて色を取り出したものだろうと思った。実際はこれは桜の皮から取り出した色なのだ。あの黒っぽいごつごつした桜の皮からこの美しいピンクの色が取れるのだという。志村さんは続いてこう教えてくれた。この桜色は一年中どの季節でもとれるわけではない。桜の花が咲く直前のころ、山の桜の皮をもらってきて染めると、こんな上気したような、えもいわれぬ色を取り出せるのだ、と。

私はその話を聞いて、体が一瞬ゆらぐような不思議な感じにおそわれた。春先、間もなく花となって咲き出ようとしている桜の木が、花びらだけでなく、木全体で懸命になって最上のピンクの色になろうとしている姿が、私の脳裡にゆらめいたからである。花びらのピンクは幹のピンクであり、樹皮のピンクであり、樹液のピンクであった。桜は全身で春のピンクに色づいていて、花びらはいわばそれらのピンクが、ほんの先端だけ姿を出したものにすぎなかった。

考えてみればこれはまさにそのとおりで、木全体の一刻も休むことのない活動の精髓が、春という時節に桜の花びらという一つの現象になるにすぎないのだ。しかしわれわれの限られた視野の中では、桜の花びらに現れ出たピンクしか見えない。たまたま志村さんのような人がそれを樹木全身の色として見せてくれると、はっと驚く。

このように見てくれば、これは言葉の世界での出来事と同じことではないかという気がする。言葉の一語一語は桜の花びら一枚一枚だといっていい。一見したところぜんぜん別の色をしているが、しかし、本当は全身でその花びらの色を生み出している大きな幹、それを、その一語一語の花びらが背後に背負っているのである。そういうことを念頭におきながら、言葉というものを考える必要があるのではなからうか。そういう態度をもって言葉の中で生きていこうとすると、一語一語のささやかな言葉の、ささやかさそのものの大きな意味が実感されてくるのではなからうか。美しい言葉、正しい言葉というものも、そのときはじめて私たちの身近なものになるだろう。

(中学校『国語2』、光村図書出版)

筆者は言葉を桜にたとえています。周りを見てみると、言葉はもちろん、他のことも桜にたとえられないでしょうか。前述の6年生は、よい卒業式のために卒業式だけ頑張るというようなことは考えていないでしょう。きっと、日々の授業態度、生活態度、友達への接し方など人となりや生き方が幹で花びら一枚一枚が卒業式での姿になるのでしょう。

和通小学校の子ども達が、春に綺麗な桜色で咲きほこれるよう、見守り励ましたいと考えた新年でした。

## 2月の下校予定

3日	4日	5日	6日	7日
月	火	水	木	金
1～4年 14:35	1年 14:50	全校 14:50	1～2年 14:50	1～3年 14:50
5～6年 15:25 委員会活動	2～6年 15:40		3～6年 15:40	4～6年 15:40
10日	11日	12日	13日	14日
月	火	水	木	金
1～3年 14:35	建国記念の日	全校 14:50	1～2年 14:50	1～3年 14:50
4～6年 15:40 クラブ活動			3～6年 15:40	4～6年 15:40
17日	18日	19日	20日	21日
月	火	水	木	金
1～3年 14:35	1年 14:50	全校 14:50	1～2年 14:50	1～3年 14:50
4～6年 15:40 クラブ活動	2～6年 15:40		3～6年 15:40	4～6年 15:40
24日	25日	26日	27日	28日
月	火	水	木	金
振替休日	1年 14:10 短縮日課	全校 14:50	1～2年 14:50	1～3年 14:50
	2～6年 15:00 短縮日課		3～6年 15:40	4～6年 15:40

- ・21(金)・・・学習参観(②下学年、③上学年)
- ・25(火)・・・短縮日課(下校時刻が早くなります)

